～*～*～*

防災DXは、防災にDXを導入することで「防災をさらに効率化し、実行速度を上げ、防災力をもっと強化する」ことを目的としています。

具体的には、例えば次のような抜本的改革があげられます。

(1) これまで人手をかけて行われていたことを自動化する

(2) （情報などの）連携が不十分であったことを連携させ、それによってこれまで「２度手間、３度手間」になっていたことを一本化する

(3) DXの活用によって、これまで不可能だったことを新たに実現する

３．防災DXで実現を目指すこと

国土交通省では、次の目標が主に掲げられています。

(1) 高度な予報や災害予測、避難、災害状況の把握、災害復旧、被災者に対する支援といった災害に関するあらゆるプロセスに、AI、ドローン、５G、衛星システム等の新技術を導入することにより、防災・減災の取組を高度化・迅速化

(2) インフラ分野のDXを強力に推進し、非接触・リモート型の工事施工や BIM/CIM を活用した新たな働き方への転換と抜本的な生産性向上を実現することで、感染症リスクにも対応しつつ防災・減災対策を展開

＊BIM（Building Information Modeling）／ CIM（Construction Information Modeling）
建設現場の生産性向上を図るため、計画、調査、設計段階から３Ｄモデルを導入し、その後の施工、維持管理においても連携させることで社会資本の整備、管理を容易にし、効率化・高度化を図るワークフローのこと。

インフラ分野のDXの推進については、「ICTや３次元データを活用したリモート化・無人化や生産性向上により、感染症リスクに対応しつつ防災・減災対策を推進する」としています。

また、前号で取り上げた「防災デジタルプラットフォーム」に集まるビッグデータと「官民が保有するさまざまなデータを連携する『国土交通データプラットフォーム』を構築し、防災・減災に活用する計画を掲げています。

文部科学省では、次の目標が主に掲げられています。

(1) 総合知による災害対応DXの推進

(2) 海底地震・津波観測網の構築・運用による防災対策への活用

(3) 情報科学を活用した地震調査研究プロジェクト

(4) 火山機動観測実証研究（迅速かつ効率的な機動観測を実現する体制の構築）

(5) 基礎的・基盤的な防災科学技術の研究開発

こうした「防災 DX」によって、さらなる「防災・減災力の強化」が実現されると良いですね。

次号もお楽しみに！

by Hirono

～～*～

西之島では、2021 年 9 月 10 日から 11 月 5 日の間に、火砕丘の北東側に衛星から遠ざかる大きな変動が見られます。また、火砕丘の東側で地形の変化が見られます。

阿蘇山では、阿蘇山を取り囲む基線で 2021 年 9 月頃から伸びが見られます。

国土地理院 21.12.8
https://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/2021-goudou1208.html

～～*～

https://kobayashiyoko-com.jp/sn/

Copyright 2021 Strategy Corporation.